

全国福祉用具専門相談員協会



理事長 岩元 文雄

「効能」を屈けていることを認めていただいている証と受け止めています。

全国福祉用具専門相談員協会（以下、ふくせん）において、一般の新型コロナウィルス感染拡大は、新しい形の協会活動を模索し、「WITH・コロナ」に対応する会員サービスを手探りながら発信、定着していく機会となりました。

今後も、オンラインを活用したサービスの拡充を図り、会員にメリットを屈けていく所存です。

福祉用具専門相談員
の
ためとなる
道標となる

さて、令和3年度介護報酬改定では、退院・退所時のカンファレンスにおける福祉用具専門相談員等の参画促進が位置付けられました。

また、通所介護に新設された入浴介助加算においても、利用者の自宅での入浴動作及び浴室の環境の評価を行うことが出来る専門職の中に福祉用具専門相談員が明記されています。

このような制度改正は、福祉用具専門相談員は単に「物」を屈けているのではなく、専門職として「効果・

効果」を屈けていることを認めていただいている証と受け止めています。

「住まいとすまい方」の最適化が福祉用具専門相談員としての責務であり、期待される役割となります。この実現に向けて、福祉用具専門相談員はさらなる専門性の向上と能力開発が求められています。ふくせんはその道標となるために歩を進めさせていただきます。

シルバー新報

2021年（令和3年） 11月15日 23面